

第五十四回フオト旬会優秀作品(27年9月14日)

自由題



足重く 今日も派遣か

非正規か 矢澤 正二

寸評：雨中の交差点。職安に急ぐ就活者の心情を鋭くえぐった社会性のある作品。足重くの措辞が効果的。



青もみじ悟りと悩み丸四角

中村 晃也



お日様にあとは頼むと

夜勤明け 池田 隆

寸 評：一晩中煌々と照っていた月が、山の端に沈む前に、昇ってくる太陽にひと声かけた場面。月が「夜のお勤め」とは。



提灯が灯れば 寄せる

笑い皺 三 春

寸 評：黄昏時の末広亭。夕席が始まり、笑いが弾ける。画も匂も下町の情緒たっぷり。



湖と静かに語る

森の精 清水 勝

寸評：北海道阿寒湖近くのオンケトウ。湖畔は人跡未踏だ。静謐な自然の情景が写真と句に表れている。



秋深し隣は何を

する **気かな** 平尾 富男

寸評：有名な芭蕉の句の三文字を替えただけで、画像と合わせると意味深な作品になった。「これぞフォト句」の好例である。

句付け



今月は清水さんの出題で、北海道名寄郊外のヒマワリ畑の写真です。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1) 食傷のゴッホ筆置くこの景色 | 安藤 晃二 |
| 2) 向日葵が一糸乱れずマスゲーム | 大月 和彦 |
| 3) 逃げ場なし一つ目小僧に取り巻かれ | 三 春 |
| 4) 妻はただリノール酸のサラダかな | 矢澤 正二 |
| 5) 放射能吸うてふ花よもっと咲け | 大越 浩平 |

寸 評：

- 1) これだけ咲けばヒマワリを描いたゴッホも食傷するでしょうね。
- 2) 並んだヒマワリをマスゲームと捉えた感覚が新しい。
- 3) ヒマワリの花を一つ目小僧と捉えた感覚は素晴らしいというよりは異常？
- 4) ドレッシングに植物油を用いる奥方の気持ちを素直に詠んだ。
- 5) ヒマワリは放射能を吸うという学説もあり、詠んだ気持ちには共感できる。